

## 平成25年度 発注者支援業務の積算資料の主な改訂箇所

### 発注者支援業務

1. 積算技術業務 : 変更なし(H25年度も見積もりを徴収し歩掛を設定)
2. 工事監督支援業務 : **四半期毎の最大工事件数の算出方法を変更**
3. 技術審査業務 : 変更なし

### 公物管理補助業務

1. 河川巡視支援業務 : 大きな変更なし (**出水時の班体制の変更**)
2. 河川許認可審査業務 : 変更なし
3. 道路許認可審査・適正化指導業務 : 大きな変更なし  
(**特殊車両審査事務業務の歩掛一部変更**)

### 用地補償総合技術

1. 用地補償総合技術業務 : 変更なし

# 平成25年度 発注者支援業務の積算資料の主な改訂箇所

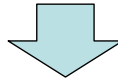
## 工事監督支援業務

各月毎の必要人数算定における工事件数の考え方を改訂

※1ヶ月あたり1/3以上工期があれば、工事件数として計上する。

### H24積算基準

N:主任監督員毎に担当する当該四半期における月当たりの最大工事件数(当該四半期内の工期が1ヶ月未満の工事は除く)に応じて以下の値とする。



### H25積算基準

N:主任監督員毎に担当する当該四半期における月当たりの最大工事件数(当該月で工期が11日以上ある場合に件数をカウントする)に応じて以下の値とする。

別紙「対象工事一覧表」

主任監督員毎に対象工事一覧表を作成すること。

工期末9月5日→当該月の11日未満であるため、月数のカウントはしない。  
工期末1月22日→当該月の11日以上であるため、月数にカウントする。

番号	工事名	当該年度の工期	月数	実施月												
				4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
1	平成23年度 1号〇〇橋PC上部工事	H25.4.1~H25.6.30	3	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2	平成24年度 1号〇〇地区共同溝工事	H25.4.1~H26.3.31	12	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
3	平成24年度 1号〇〇道路建設工事	H25.4.1~H26.3.31	12	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
4	平成25年度 1号〇〇地区舗装工事	H25.4.1~H25.6.30	3	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
5	平成25年度 1号〇〇〇〇高架橋下部工事	H25.4.1~H26.1.22	10	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
6	平成25年度 1号〇〇地区ケーブル敷設工事	H25.4.1~H26.1.31	10	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
7	平成25年度 〇〇電気設備工事	H25.4.1~H25.9.5	5	○	○	○	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-
8	(未発注工事)	H25.6~H25.12	7	-	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
9	(未発注工事)	H25.6~H26.2	9	-	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
工事件数計				7	7	9	7	7	6	6	6	6	5	3	2	

H24歩掛では計上できなかった

# 平成25年度 発注者支援業務の積算資料の主な改訂箇所

## 工事監督支援業務

上記で記載した業務内容に基づいて次式により各月毎に必要な日あたりの必要人数を求める。

$$P_{\text{四半期}} = 0.145 \times N + (\alpha + \beta + 0.15)$$

ここに、

$P_{\text{四半期}}$ : 当該四半期の1日あたりの必要人数(少数第1位止め(少数第2位切り捨て))

N: 主任監督員毎に担当する当該四半期における月当たりの最大工事件数(当該四半期内の工期が1ヶ月未満の工事は除く)に応じて以下の値とする。

表

本数区分	四半期内の最大工事件数(1ヶ月以上)	N
1	1 ~ 5 本	2.5
2	6 ~ 10 本	7.5
3	11 ~ 20 本	15.0
4	21 ~ 30 本	25.0
5	31 ~ 40 本	35.0
6	41 ~ 50 本	45.0

$\alpha$ : 関係機関協議等の必要性、作業量に応じて選択しないことも可とする。  
 $\beta$ : 地元調整及びその他業務の必要性、作業量に応じて選択しないことも可とする。

H25積算資料

H24積算資料

上記で記載した業務内容に基づいて次式により各月毎に必要な日あたりの必要人数を求める。

$$P_{\text{四半期}} = 0.145 \times N + (\alpha + \beta + 0.15)$$

ここに、

$P_{\text{四半期}}$ : 当該四半期の1日あたりの必要人数(少数第1位止め(少数第2位切り捨て))

N: 主任監督員毎に担当する当該四半期における月当たりの最大工事件数(当該月で工期が11日以上ある場合に件数をカウントする)に応じて以下の値とする。

表

本数区分	四半期内の最大工事件数(11日/月以上)	N
1	1 ~ 5 本	2.5
2	6 ~ 10 本	7.5
3	11 ~ 20 本	15.0
4	21 ~ 30 本	25.0
5	31 ~ 40 本	35.0
6	41 ~ 50 本	45.0

$\alpha$ : 関係機関協議等の必要性、作業量に応じて選択しないことも可とする。

$\beta$ : 地元調整及びその他業務の必要性、作業量に応じて選択しないことも可とする。

# 平成25年度 発注者支援業務の積算資料の主な改訂箇所

## 河川巡視支援業務

### II. 出水時

#### (2) 各構成費目の算定

b. 巡視業務  
[班編成]  
巡視業務の班編成は、次表を標準とする。

職	種	員	数
技	術	員	2人
一	般	運	1人

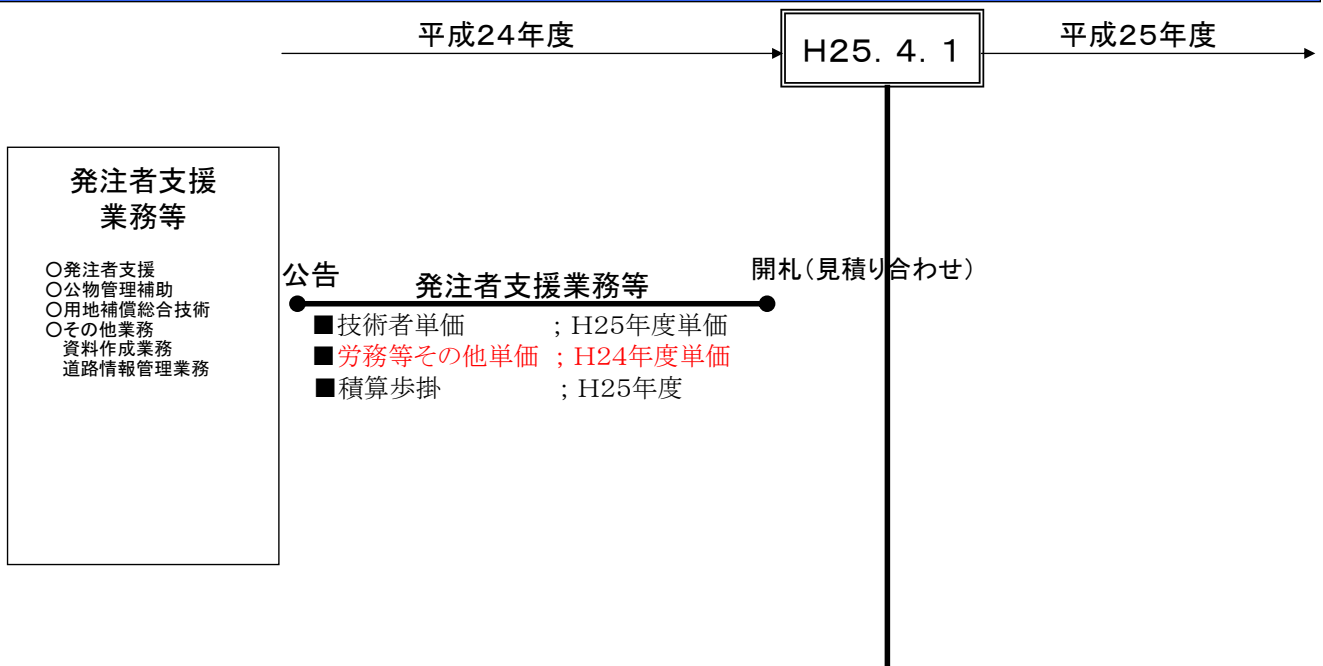
H24積算資料

b. 巡視業務  
[班編成]  
巡視業務の班編成は、次表を標準とする。

職	種	員	数
技	術	員	1人
普	通	作	1人
一	般	運	1人

H25積算資料

## H24年度内に公告を行うH25年度業務の適用歩掛・単価について



その他年度内に公告する業務委託などにおける、単価、歩掛の扱いについては、別途中部地方整備局ホームページに掲載しますのでご確認ください。